

KONAN U.VISION

甲南新世紀ビジョン
2025

> To 2025
行こう新たな挑戦へ

KONAN
UNIVERSITY
2021.4

We will create the next 100 years.

甲南新世紀ビジョン KONAN U.VISION

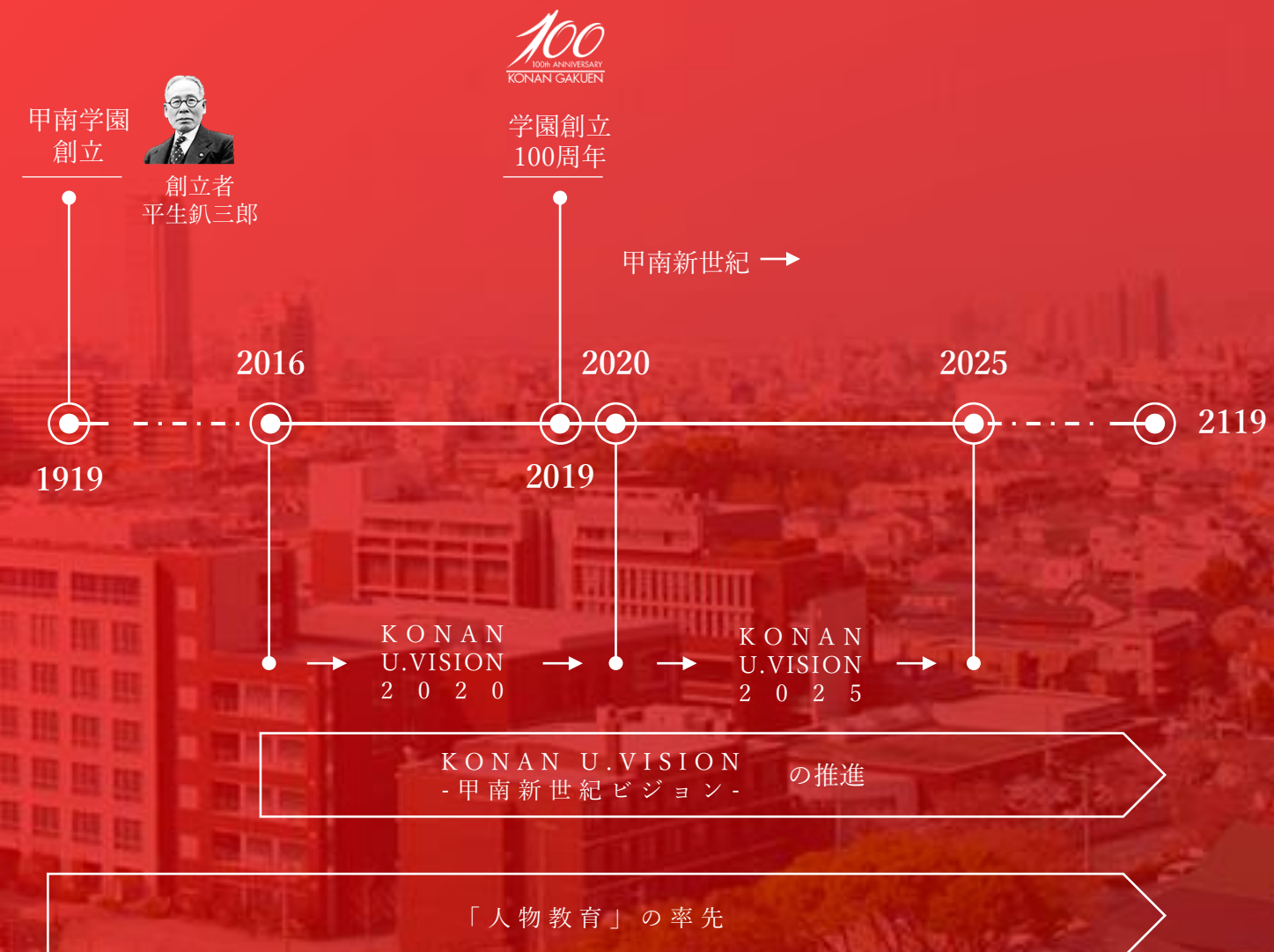
2019年に創立100周年を迎えた甲南学園は、進取の気風あふれる神戸の地にあり、本物の文化に触れることができるめぐまれた教育環境のもと、自由と自立の精神、品格があり明るくさわやかな学生気質を育んできました。

現在、世界的研究・教育拠点を目指す学部・研究科を擁し、学生数約9,000人の総合大学に発展した甲南大学は、甲南教育の新たな世紀を迎えるのを機に、人物教育率先の理念のもと、教育の質の一段の向上を目指した「甲南新世紀ビジョン」を定め、全学を挙げてその実現に取り組んでいます。

2020年度における甲南大学のありたき姿を示した「KONAN U.VISION 2020」は、独自性の高い数々の成果を生み出し、完成年度を迎えました。これを受け、成果の継承・発展と新たな挑戦によって、さらなる進化を目指した「KONAN U.VISION 2025」を定めました。

新型コロナウイルス感染症は、学生の学びにも大きな影響を与え、未だに予断を許さない状況が続いています。しかし、どのような状況にあっても人物教育率先の理念を追求し続ける必要があります。

甲南大学は、2021年度からスタートする「KONAN U.VISION 2025」のもと、ミディアムサイズ総合大学の利点を生かした人物教育をより強力に推し進め、同ビジョンに基づく「基本方針及び施策（戦略）」に沿って、その実現に取り組んでいきます。



理事長・学長ご挨拶	1
甲南大学のミッション	2
KONAN U.VISION 2025 全体像	4
VISION 大学全体のビジョン	6
STRATEGY 教学新機軸	7
ACTION KONAN プレミア・プロジェクト	11
Faculties and Centers -	
VISION 各学部・大学院・センターなど各組織のビジョン	14
KONAN IR 数字で見る甲南大学	28



第18代甲南大学長
中井 伊都子

創立100周年を超えて新たな世紀を歩みだした甲南学園にあって、甲南大学は2021年に開学70周年を迎えました。

甲南大学は、約9,000人の学部生と大学院生が学ぶミディアムサイズの大学です。そして、このサイズの中に、人文・社会・自然科学の8学部・14学科と博士課程まで備えた4研究科を擁する総合大学でもあります。この「ミディアムサイズ総合大学」の規模と多様性が生み出す融合力こそが、人物重視の質の高い教育の提供を可能にしてきました。

伝統のうえに弛まぬ革新を重ね、「人物教育の甲南」と評価される大学としてその使命を果たし続けることを目標として定めたKONAN U.VISION 2020は、このたび完成年度を迎えました。その成果を継承し、ミディアムサイズ総合大学の利点を生かした人物教育をより強力に推し進め、確固たる信頼を得ながら進化を続けていくとの決意を新たに、KONAN U.VISION 2025を定めました。

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大により、社会は大きくその姿を変えました。めまぐるしいスピードで変化する予測不可能な時代を「正志く、強く、朗らかに」生き抜く人間力と、世界に通用する研究力に裏打ちされた質の高い教育によって確かな力を身につけた甲南人を育てること、これこそが、甲南大学の使命であると考えています。これからの甲南大学の取り組みに、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

KONAN U.VISION 2025

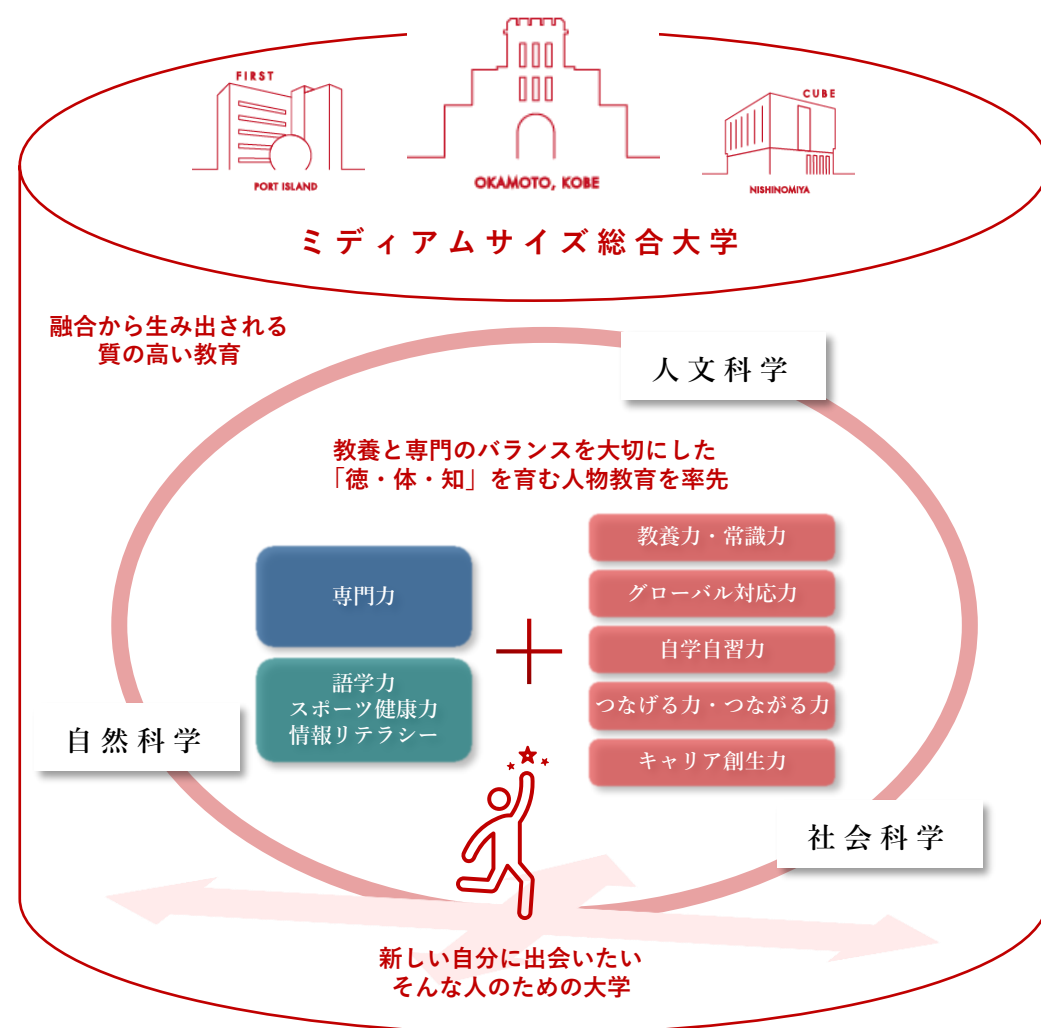
甲南学園は、2019年4月21日に学園創立100周年という大きな節目を迎えることができました。多くの方々の支え、ご協力に深く感謝いたします。そして、2020年3月27日、甲南新世紀における学園方針を定め、「甲南学園中期計画（2020～2024）」を公開、2021年3月26日に大学のアクションプランを更新しました。これからの時代にますます重要な意味をもつ「平生フィロソフィー」（創立者平生汎三郎の人生全体を貫く基本的な考え方）のもと、甲南大学においてはKONAN U.VISION 2025に向かいつつ、学園すべての教職員、そして卒業生をはじめ関係する多くの方々とともに「人物教育率先」を進化させる学園中期計画の実現に向けて束になって進みます。そして、学園のすべてにわたる「KONANクオリティ」をさらに高めていくことで、多くの方々と朗らかに「つながる学園」を実現できるように尽力していきます。これからの甲南大学の取り組みにご理解とご支援をいただければ幸いです。

第14代甲南学園理事長
長坂 悦敬

MISSION

私たちの変わらぬ使命

甲南大学の教育方針の根本には、学園創立者平生汎三郎が主唱した「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」という建学の理念があります。この理念のもと、甲南大学は、教養と専門とのバランスを大切にしながら人物重視の教育を行い、良質な社会的常識・倫理観・品格を備え、自ら率先して社会に貢献できる専門性を持った人材の養成を目指します。



KONAN INFINITY

みんなで決めた”甲南らしさ“のワンワード



KONAN INFINITY

甲南大学の魅力をわかりやすく一言で表現するために、KONAN ワンワード・プロジェクトを実施し、学生・教職員の投票によって「KONAN INFINITY」が選ばれました。これは、さまざまな出会いや発見によって日々成長し、「無限大」の未来が広がっていくキャンパスライフをイメージしたものです。このワンワードを躍動的かつ奥行のあるフォルムにデザインしたのがこのコミュニケーションマークです。

KONAN U.WAY

甲南の教育理念に基づく学生・教職員 共通の行動指針

「ヨキカラダ ヨキ考エ 少シデモ 世ノ中ニ ツクシウル 人間ニ ソダツテ モライタイ」。そのために「画一的ナ 教育ヲ サケ 個々ノ 人間ノ 才能ヲ ノバシウル」教育。これこそが、創立者・平生汎三郎や、創立に深くかかわった伊藤忠兵衛など錚々たる人物たちから現在に伝わる、そして現在に生きる教育理念です。これをKONAN U.WAY(Becoming a Person the World Can Trust)として三つの指針にまとめました。KONAN U.WAYとは、甲南大学に学ぶ学生・教職員が常に心に留めるべき共通の理念であり、自己の成長と飛躍を図るために日々参照すべき行動指針です。この三つの指針を胸に秘め、皆で可能性を無限大に広げる未来につなげます。

KONANは

◆個性あるキャリア創生力を涵養する

他者を敬い、礼儀・マナーを重んじ、健全な常識を培い、人格を形成するとともに、一人ひとりの天賦の特性を活かし希望を創り生みだし、その目標にむけ日々努力する。

KONANは

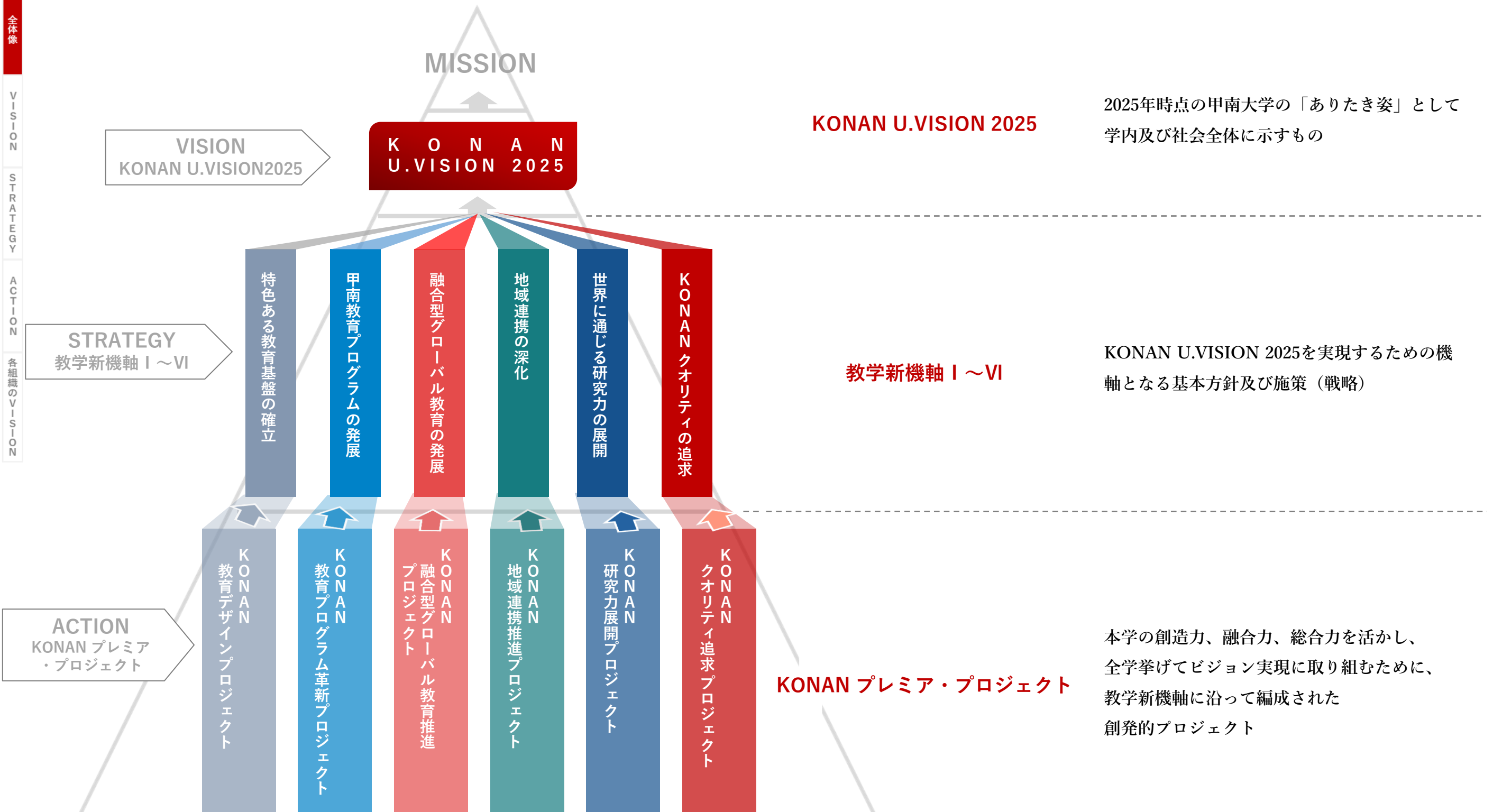
◆つなげる力・つながる力を育む

共に学び、成長する場を大事にし、リーダーシップ（人をつなげる力）・共働互助（人とつながる力）を培う。

KONANは

◆正志く 強く 朗らかに

周囲環境のどのような変化にも志を貫き大局の打算を誤らず、的確柔軟に対応していくよう心掛ける。



KONAN U.VISION 2025

2025年時点の甲南大学の「ありたき姿」として
学内及び社会全体に示すもの

教学新機軸 I ~ VI

KONAN U.VISION 2025を実現するための機
軸となる基本方針及び施策（戦略）

KONAN プレミア・プロジェクト

本学の創造力、融合力、総合力を活かし、
全学挙げてビジョン実現に取り組むために、
教学新機軸に沿って編成された
創発的プロジェクト

VISION

KONAN U.VISION 2025

甲南大学が2025年にどうありたいか

VISION 1

ミディアムサイズ総合大学の利点を生かした人物教育をより強力に推し進め、予測不可能な時代を「正志く、強く、朗らかに」生き抜く人物を育むことにより確固たる信頼を得る大学になる。

VISION 2

世界に通用する研究力と地域社会の発展に資する共働互助の力を教育に生かし、人物の育成と社会貢献を通じてより良い社会の実現に持続的に貢献する大学になる。

VISION 3

つなげる力・つながる力を生かして絶えず革新を重ね、時代の変化のなかでも強靱かつしなやかに進化し続ける質の高い大学になる。

STRATEGY

教学新機軸の推進

KONAN U.VISION 2025を実現するための基本方針・施策（戦略）として、つぎの教学新機軸Ⅰ～Ⅵを推進します。

機軸Ⅰ
特色ある教育基盤の確立



ミディアムサイズ総合大学の特色を生かした質の高い教育基盤の確立

機軸Ⅱ
甲南教育プログラムの発展



新たな時代に向けた甲南教育プログラムのさらなる発展

機軸Ⅲ
融合型グローバル教育の発展



融合型グローバル教育の浸透と発展

機軸Ⅳ
地域連携の深化



地域連携の深化と教育への展開

機軸Ⅴ
世界に通じる研究力の展開



世界に通じる特色ある研究力の活用と展開

機軸Ⅵ
KONAN クオリティの追求



KONAN クオリティの追求と創造

STRATEGY

教学新機軸の推進

機軸Ⅰ | 特色ある教育基盤の確立

ミディアムサイズ総合大学の特色を生かした質の高い教育基盤の確立

ミディアムサイズ総合大学の特色を最大限に生かし、学生の確かな成長と個性の伸張につながる教育活動の充実、定着化を推進します。併せて、高い教育の質を保証する取り組みとして、学生の学習成果に基づいた教学マネジメントを徹底します。これらによって、一層信頼度の高い教育体制を整備するとともに、個性を力にできる才幹を育む教育活動の体系化と明確な成果の発揮を実現します。

また、入学から卒業までの学生一人ひとりの成長を支える支援体制の有機的連携を図り、学生同士の「学び合い高め合い」を促進することによって、安心して実りある学生生活を支え、個性を磨くことができるキャンパスを実現します。



機軸Ⅱ | 甲南教育プログラムの発展

新たな時代に向けた甲南教育プログラムのさらなる発展

学部専門教育の積極的な改革・改善を通じた教育の質の向上・特色化や、徳・体・知を育む一体的な共通教育の整備・充実を推進するとともに、専門教育と共通教育の融合を図って「人物教育」を実践する教育プログラムを整備し、甲南新世紀教育の発展を推進します。

また、本学の特色・強み・資源を最大限に活かし、予測不可能な時代に向けた新たな教育に挑戦するとともに、さまざまな世代が交じり合い刺激し合って成長するキャンパスを実現します。



機軸Ⅲ | 融合型グローバル教育の発展

融合型グローバル教育の浸透と発展

どの学部に入學しても専門科目を学修しながら学ぶことができる「融合型グローバル教育」の特色を一層発揮し、各種取り組みの充実や魅力化による参加学生数の拡大を図り、チャレンジ精神、多文化理解力、タフネス、主体的行動力、外国語によるコミュニケーション能力を兼ね備えたグローバル人材の育成を推進します。また、キャンパスのグローバル化やグローバル教育推進体制の強化、留学の送り出し・受入れの強化や交流する機会・環境の充実によるグローバルな「学びの場」としての発展と活性化を推進し、「人物教育」の一翼を担う比類なきグローバル教育モデルの確立を図ります。



機軸Ⅳ | 地域連携の深化

地域連携の深化と教育への展開

「人物教育」の一環として、「共働互助」の精神を醸成する地域連携教育の意義を一層明確にし、すべての学生に地域で学ぶ機会を提供します。また、リカレント教育や高大接続活動との連携を図り、より幅広い世代を対象とした地域連携・社会貢献活動を展開するとともに、地域連携センターは組織基盤と情報発信の強化を図り、大学と地域社会を結ぶハブ機能を一層発揮することによって、地域連携の深化とさらなる教育への展開に貢献します。



機軸Ⅴ | 世界に通じる研究力の展開

世界に通じる特色ある研究力の活用と展開

世界に通じる特色ある研究力のさらなる向上を図り、その成果を積極的に教育に反映するとともに、大学院の組織や教育の充実、多様な入学者の受入れなど、時代の変化に対応した大学院改革を推進することによって、さらなる研究力の向上につながる好循環を実現します。また、研究力を可視化し、研究推進の体制の充実・強化と適正な管理運営の徹底を図ります。産学連携を一層推進するとともに、社会の発展により幅広くより高い水準で貢献し、「研究力の甲南」としての地位の確立を目指します。



機軸Ⅵ | KONAN クオリティの追求

「KONAN クオリティ」の追求と創造

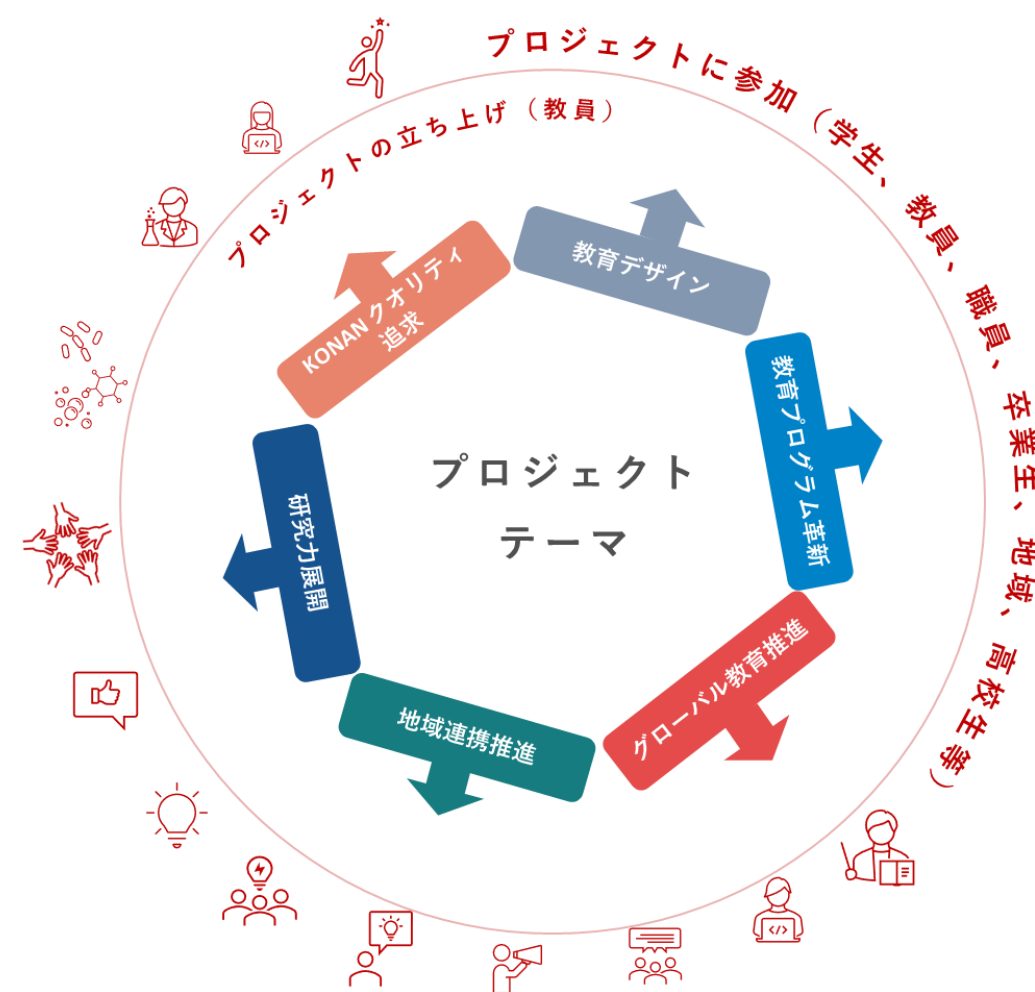
大学を挙げて「KONANクオリティ」を追求し、そこから生み出されるさまざまな成果によって、大学としての独自の価値と存在感を飛躍的に高めるブランディング戦略を推進します。また、高大接続活動の発展と情報発信・コミュニケーションの強化を通じて学内外への浸透を図り、強固な支持層の形成を進めます。併せて、学園全体で連携して「常に備えよ」の教えを生かした体制づくりを推進し、社会への責任を果たし、安心して学べる大学であり続けます。



ACTION

KONAN プレミア・プロジェクト

ミディアムサイズだからこそできる
みんなの“実現したい力”で大学を魅力化する創発型プロジェクト



NEXT

KONAN プレミア・プロジェクトとは…

本学の創造力、融合力、総合力を活かし、
全学挙げてビジョン実現に取り組むために、教学新機軸に沿って編成された創発的プロジェクト。
2015年より全学及び各学部、大学院、センター等、または組織横断的に融合したプロジェクトチームが本学教育の特色を進化させるプロジェクトを展開している。

ACTION

KONAN プレミア・プロジェクト

T. 2025

2021年度より新たなテーマで編成する第2次となるKONAN プレミア・プロジェクト。
これまでの成果のさらなる発展と新たな挑戦を通じて、確かな価値の追求と弛まぬ革新を図り、KONAN U.VISION 2025の実現を目指します。

KONAN 教育デザイン
プロジェクト

他にはない、
甲南大学独自の教育・学びを創出する。

- 教育の特色強化
- 教育支援
- 内部質保証
- 学生支援

KONAN 融合型グローバル教育推進
プロジェクト

“融合型グローバル教育”を
中心としてグローバル人材の養成を目指す。

- 融合型グローバル教育
- 推進体制強化
- キャンパス
グローバル化

KONAN 研究力展開
プロジェクト

“世界に通用する研究力”を
教育、社会貢献に展開する。

- 大学院改革
- 産学連携
- 研究力の可視化
- 研究推進
・管理運営体制強化

KONAN 教育プログラム革新
プロジェクト

専門・共通教育の革新と
新しい時代に求められる教育へ挑戦する。

- 学部改革
・共通教育改革
- 新テーマ対応
- 専門・共通の融合
- リカレント教育

KONAN 地域連携推進
プロジェクト

地域との絆を深め、
社会貢献と学生の成長につなげる。

- 地域連携教育
- 推進体制強化
- 幅広い世代への活動展開

KONAN クオリティ追求
プロジェクト

特色や強みの可視化と発信により、
強固な支持層の形成を目指す。

- ブランディング
- 情報発信
・コミュニケーション活動
- 教育接続

2015 → KONAN プレミア・プロジェクト → 2020

プロジェクト数 年度別推移



Look back

PICK UP

KONAN つながるプロジェクト

神戸スイーツの研究活性化拠点PJ



地域貢献支援PJ



KONAN グローバル・バリアフリー プロジェクト

グローバルゾーン “Porte”PJ



留学のための英語集中コースPJ



KONAN スチューデント・サポート プロジェクト

ラーニングアシスタントPJ



We Love Study PJ



KONAN “なりたい自分”キャリアデザイン支援プロジェクト

活躍する甲南卒業生に学ぶPJ



キャリアデザインPJ



KONAN 大学教育基盤整備プロジェクト

高大接続推進PJ



関西湾岸SDGs チャレンジPJ



KONAN スーパー人材育成プロジェクト

KONAN サーティフィケートPJ



スーパーIT人材育成PJ



KONAN スポーツ元気プロジェクト

スポーツ応援PJ



スポーツ環境推進PJ



KONAN スマート・ラーニングプロジェクト

冤罪事件の研究を通じた
法教育の実践PJ

プロジェクトゼミPJ



KONAN Research & Educationプロジェクト

研究力可視化PJ



AIロボット学びPJ



60以上のチームが
チャレンジングなプロジェクトで
キャンパスを活性化



Faculties and Centers

(学部・大学院・センターなど)



KONAN U.VISION 2025

甲南大学には、伝統を礎に進化する5学部（文学部・理工学部・経済学部・法学部・経営学部）と先端的な特色教育を進める3学部（マネジメント創造学部・知能情報学部・フロンティアサイエンス学部）、先端研究を行う4研究科（人文科学研究科・自然科学研究科・社会科学研究科・フロンティアサイエンス研究科）があります。また、共通教育を担う各センター等に加え、教育・学生生活支援、入試業務、研究推進・地域連携を担う部局が活動しています。これらすべての組織が甲南新世紀を担い、2025年に向けた各々のビジョンを掲げ、その実現に取り組んでいきます。

NEXT

文学部

- (1) 融合型リベラルアーツ教育を発展させ、人文学の知と実証的スキルを兼ね備えた人物を育てる学部になる。
- (2) 変化する時代への方向感覚と、より良い社会の実現に貢献する力を持った人物を育てる学部になる。
- (3) 人文学の教育と研究に根ざした、多様な価値観の交わる創造的な場を生み出す学部になる。

経済学部

- (1) 1年次から4年次まで、学生と教員の距離が近い、親身な教育と指導を行うことで、学生一人ひとりが専門的知識を深め、高い人格と品性を備えた人物に成長する、「顔が分かる」少人数教育」を実践するとともに、それに資するきめ細やかな学生支援を行う学部になる。
- (2) ダブルディグリー留学制度やその他の各種留学プログラムへの参加を奨励・支援することで、経済学部生のグローバル体験機会を拡充し、「融合型グローバル教育」を推進する学部になる。
- (3) 地域連携教育を強化し、地域社会とのつながりを深化させる学部になる。また、高大連携活動の推進を通じて社会に貢献する学部になる。
- (4) 特色ある、また国際的にも高水準の研究を行うとともに、高い研究倫理意識を有する学部になる。

法学部

- (1) 国際社会及び日本社会を鳥瞰できる専門知識を持った人材を育てる学部になる。
- (2) 人権感覚にあふれた柔軟な思考力、批判精神、社会的弱者に共感できる豊かな心を持った市民を育てる学部になる。
- (3) 社会的諸問題に対し、自ら思考し、人々とならび、解決を目指すことのできる公共人材を育てる学部になる。
- (4) 法学・政治学の研究において、それぞれの専門領域で質の高い研究を進めるとともに、専門領域を超えた融合的・総合的な研究にも取り組み、その成果を教育と社会に生かすことのできる学部になる。

経営学部

- (1) 関西の私立大学で最初に開設された経営学部として、伝統と革新の精神に基づいた実践的な教育を通じ、「発見する力」、「創り出す力」、「やりとげる力」を有する、実社会に貢献できる人材を輩出する学部になる。
- (2) ミディアムサイズである本学の特徴を生かして、伝統的な経営学教育をより着実に実践するとともに、実務志向的な新しいタイプの教育プログラムを提供できる学部になる。
- (3) 世界に通じる特色ある研究のさらなる向上を図り、その成果（研究成果・教育成果）を積極的に社会に還元できる学部になる。
- (4) 産業界の理解・共感を醸成して強固な支持層を形成し、強いつながりを持つ学部になる。

マネジメント創造学部

- (1) 学生一人ひとりの個性を引き出し「自ら学ぶ力」「共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」の育成を図ると共に、地域との連携を強化し1年次から地域の人々と共に学ぶ学部になる。
- (2) 積極的な異文化体験と実践的な英語教育を通して、グローバルな社会問題を深く理解し意見できる、世界に通用する人物を輩出できる学部になる。
- (3) 地域や企業などの現場での体験や課題を見つけて解決策を探る体験を通して、社会の問題の本質を見抜き複雑化した諸課題に立ち向かう力を養う学部になる。
- (4) 教員の研究成果を教育に反映し、学生が多様な視点をもって社会に向き合うことができる学部になる。

理工学部

- (1) 新しい理系教育のあり方を探究し続ける学部になる。
- (2) 学部として目指す教育を一層充実させ、社会に貢献できる専門性を持った人材を養成できる学部になる。
- (3) 多様な目標、課題を掲げる学生に対応し、質の高い教育を提供できる学部になる。
- (4) 他学部、地域へ自然科学教育を展開し、自然科学の面白さや意義を発信できる学部になる。
- (5) 学部から大学院へと研究を継続的に進め、研究力を学外へ発信・展開できる学部になる。

知能情報学部

- (1) ミディアムサイズである本学の特徴を生かして、学部の新6コースの理念に掲げる知識と応用力・実践力・人間性を備えた人材の育成を、新しい教育プログラムにおいてさらなる進展・洗練化を図る学部になる。
- (2) 数理科学を基盤とした知能情報学による教育と研究を創出し、産業界において広く理解・共感を得られる強靱な支持層を獲得し、研究・教育成果を積極的に社会に還元する学部になる。
- (3) 学部－大学院による一貫教育を構築し、世界に通じる特色ある研究のさらなる向上を図り、産業界や研究機関、海外等で活躍でき、「問題を発見し、自ら考え、解決する力」を社会で実践できる人材を輩出する学部になる。

フロンティアサイエンス学部

- (1) 神戸医療産業都市における唯一の化学系学部としての甲南大FIRSTのプレゼンスを向上させ、研究面において信頼を得る学部になる。
- (2) “顔がわかる”少人数制のきめ細やかな教育による理系専門職や理系応用人材の育成を通じて社会に貢献する学部になる。
- (3) withコロナ・AI時代を生き抜くための専門知識・教養を涵養する教育・研究システムを構築し、受験生や企業から選んでもらえる学部になる。

FIRST…フロンティアサイエンス学部の愛称

人文科学研究科

- (1) 学部学生に大学院で学ぶことの意義について積極的に周知するなど、既存教育環境のもとでの学生募集をより活性化するための課題に積極的に取り組むとともに、社会人のための社会教育・生涯学習に向けた高度な専門教育を提供する研究科になる。
- (2) 大学院担当教員が積み重ねてきた教育・研究力を可視化させ、研究成果・教育実績を公開し、社会に還元できる研究科になる。
- (3) 学生と大学院各専攻を横断・融合する幅広い知の探求を深めるとともに、担当教員との研究交流を深めることで「学びの交流」を推進できる研究科になる。

社会科学研究科（経済学専攻）

- (1) 税理コースでの2年間にわたり厳しくも親身な教育・指導を行うことによって、将来税理士を目指す大学院生のための充実した教育を堅持する研究科専攻になる。
- (2) 個々の学生の特性に応じたきめ細やかな学生支援体制を推進する研究科専攻になる。
- (3) 専修プログラムの導入検討や社会人コースの見直し等により、税理コース以外の大学院教育も活性化させる研究科専攻になる。
- (4) 広報活動の強化により、志願者数・入学者数の増加を目指し、大学院教育を活性化させる研究科専攻になる。

社会科学研究科（経営学専攻）

- (1) 経営学、会計学、商学の3分野の先端をいく高度な理論的・実証的研究を促進し、さらには伝統と革新の精神に基づいた教育を実践し、より良い社会づくりの実現に貢献できる実践的な専門教育を行う研究科専攻になる。
- (2) 教育力の高い大学院として世界的な名声を得ると共に、時代の変化に対応した大学院教育を行い、社会に貢献できる人材を育成する研究科専攻になる。
- (3) 世界に通じる特色ある研究のさらなる向上を図り、その成果（研究成果・教育成果）を積極的に社会に還元できる研究科専攻になる。

自然科学研究科

- (1) 確かな研究力と実践力を備えた「地域」と「世界」で活躍する人材を育成する研究科になる。
- (2) 自然科学の幅広い分野をカバーする研究科の特色を活かし、専攻の枠を超えた融合力による教育と研究の両面で新しい潮流を創出する研究科になる。
- (3) 各専攻分野でオンリーワンの研究成果を発信し、国際的な研究活動を展開することで世界で輝く研究拠点としての研究科になる。
- (4) 理工学部・知能情報学部と連携し、大学院の高度な教育研究を学部教育に活かすとともに、学部教育と大学院の教育研究の一貫したつながりによって魅力的で質の高い研究科になる。

フロンティアサイエンス研究科

- (1) 変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代を、専門的な知識・技能と甲南スピリットをもってしなやかに生きることができる人物を社会に送り出す研究科になる。
- (2) 生命化学の分野で研究成果を世界に発信すると同時に、その過程や成果が神戸医療産業都市をはじめとする地域社会の発展に資するよう行動する、グローバルな研究科になる。
- (3) 神戸医療産業都市内の遠隔キャンパスに立地する研究科として新たな活躍の場を見出して社会に発信するとともに、その過程や成果を大学・大学院に還元する、ウイングとしての役割を果たせる研究科になる。

法科大学院（2019年秋入学より募集停止）

- (1) 法科大学院ならではの質の高い教育を在学生全員が修了するまで維持する。
- (2) 在学生と修了生への手厚いサポートにより、司法試験合格者を毎年輩出し、司法試験合格者総計150名を達成する。
- (3) 法科大学院が大学で培った教育資産を学部教育や社会に継承、還元し、KONANクオリティの発展に貢献する。

全学教育推進機構

- (1) 人物教育の基盤となる全学教育を推進するため「徳・体・知」のバランスの取れた「共通の学び」を担うとともに、本学における教育の質向上に教育支援と学習支援の双方から寄与する機構になる。
- (2) 「ミディアムサイズ総合大学」としての特長を活かし、専門教育と連携して、社会の変化や時代の要請に対応した共通教育を推進する。
- (3) 機構としてのイニシアティブを発揮し、4つのセンターが一貫性をもって有機的に連携して躍動する機構になる。

共通教育センター

- (1) 学問領域を異にする多彩な教員による教育力を最大限発揮し、人物教育の基盤となる全学共通教育を充実させるセンターになる。
- (2) 入学前教育から導入教育へと継続的教育展開を行い、学生一人ひとりの成長に焦点を当てることで人物教育率先に寄与するセンターになる。
- (3) 社会との接続において必要となる多様な実践的応用能力の育成を通じて、社会に有為な人材を輩出するセンターになる。

スポーツ・健康科学教育研究センター

- (1) スポーツ科学、健康科学に関する調査・研究活動により、「徳・体・知」の人物教育の基盤となるスポーツ・健康教育を推進するためのセンターになる。
- (2) スポーツ活動の普及振興及び健康意識の啓発活動・支援活動により、「正志く、強く、朗らかに」生き抜く人物を育む本学の教育に寄与するセンターになる。
- (3) 本学の持つスポーツ・健康に関する知的資源、人的資源、物的資源を生かし、健康で豊かな社会の実現のために、地域社会に貢献するセンターになる。

リカレント教育センター

- (1) 平生フィロソフィーの基礎である「人生三期の学び」をもとに、多様なバックグラウンドを持つあらゆる世代の社会人が共に学び合う場を提供することを通して、学ぶ人・学ぶ内容の多様化・多元化を図り「マルチステージ型キャンパス」の実現に資するセンターになる。
- (2) 共働互助を柱とする平生フィロソフィーを継承し、リカレント教育に参加する履修生と修了生の交流を継続するとともに、それぞれが「働く」「学ぶ」の好循環を作り出し、どの世代であっても社会で活躍する人材が巣立つ「学び直し」の場を提供するセンターになる。
- (3) 企業・自治体・地域との絆を強めて「リカレント教育」を充実させ、地域社会の発展に貢献するセンターになる。

教育学習支援センター

- (1) 学生同士が学び合い高め合いながら個性を磨き、社会に貢献することのできる人物を育成するために、新しい教育手法の開発と全学的な浸透、及び支援体制や環境の充実を推進するためのセンターになる。
- (2) IR機能によって収集したデータの分析により、教育改善のための支援や研究活動、学生本位の教学マネジメントの確立を支援するセンターになる。
- (3) KONAN サーティフィケート制度をはじめとした、成績評価に現れにくい人物教育の成果を可視化できる指標を開発することを通じ、本学の教育成果を社会に発信することができるセンターになる。

国際言語文化センター

- (1) 学部やセンター等と連携し、つなげる力・つながる力を発揮して、本学の融合型グローバル教育を推進することにより、世界の人々と協働できる人物の育成に貢献できるセンターになる。
- (2) 甲南大学の外国語教育を担う機関として、言語スキルの習得のみならず、異文化を理解し、ますます重要性を増している「言語や文化の多様性」を尊重する複眼的な思考と価値観を持つ甲南生の育成を、より強く推進するセンターになる。
- (3) 日本語教育を軸とした受入れプログラムの多様化と制度化により、正規留学生や短期留学生の受け入れを強化し、甲南大学のグローバル化を促進するとともに、グローバル人材を育成するセンターになる。

国際交流センター

- (1) 学生一人ひとりのニーズにあった「FITなリユース（留学活動）」を支援するセンターになる。
- (2) 融合型グローバル教育をより充実させ、グローバルゾーンでの教育を活性化し、持続可能な社会に貢献できるグローバル人材を育成するセンターになる。
- (3) 協定校との関係強化を図りつつ、留学生と交流する機会や環境を充実させ、グローバルで活躍する力（つなげる力・つながる力）を伸ばすセンターになる。

地域連携センター

- (1) 大学と地域を結ぶハブとしての機能を果たし、地域連携の拠点として活動すること、学校教育と連携すること、及び大学の学びや研究を地域に還元することにより、地域・社会とともに発展する大学として高い評価を得ることに貢献するセンターになる。
- (2) 地域連携教育・地域貢献活動の実践を通じて次代を担う人材の育成に貢献し、多くの学生がボランティアや地域連携活動に取り組むことを通じて「人物教育」を実現するセンターになる。
- (3) 「共働互助」の精神に基づき、近隣地域との連携を深めるとともに、連携協定を締結する自治体、企業、教育機関等と相互に実りある関係を構築し、大学と地域社会の発展に貢献するセンターになる。

教職教育センター

- (1) 幅広い教養と深い専門性を追求し、専門職として「教え育てる」能力及び生徒の個性を伸長させる態度・姿勢を有する教員像の具現化を理念に掲げ、教員養成課程を持つ各学部・学科と連携して理念の実現を図るセンターになる。
- (2) さまざまな困難を乗り越え「学び続ける教師」として、成長しながら教職を継続していくことのできる資質・能力を有する教員の養成を図る。
- (3) 教員免許状更新講習の開設、卒業生教員や教育委員会との連携、教職に関する高大連携など、教職に関する社会連携・社会貢献を積極的に推進する。

公認心理師養成センター

- (1) 全ての学部・学科の学生が履修可能な国家資格取得のための学部カリキュラムを提供して、幅広い知識や関心を持ち、グローバルな倫理観を持つ専門的実務家を養成するセンターになる。
- (2) 学生がボランティアで参加できる地域臨床実践活動を行い、実習の場を拡大して、心理学的な知見を活かした地域援助への感性と関心を持つ専門家を養成するセンターになる。
- (3) 協定大学院との連携を深め、独自の知見と特徴を相互に組み合わせることによってより広い心理学教育を行い、6年間に渡る専門教育を充実させるセンターになる。

教務部

- (1) 教室や授業支援システム等の整備を中心に、授業規模の最適化を含めた教育環境の基盤を安定的に維持し、各学部・センター等における質の高い教育の実現を支援する組織になる。
- (2) 科目ナンバリングの再構築による学修の段階や順序の明確化等、各学部・センター等と連携し、教育課程の体系化によって教育の質向上と可視化を推進する組織になる。
- (3) 授業支援や履修・成績等の学務処理を中心とした運用体制の整理統合等、関連部局と連携し、教育支援体制を強化し、教育と学生の学習を支援する組織になる。

学生部

- (1) 学生が安全で安心かつ充実した学生生活を送ることができるよう努め、“student first”をモットーとして親身な学生対応と丁寧な学生指導を実践する組織になる。
- (2) 学生の人格形成を育む場である正課外活動への参加を推奨し、学生が自ら立てた目標に挑戦できる支援体制を構築するとともに、学生の活動の健全化と活性化を図る組織になる。
- (3) 学生が入学から卒業まで安心して修学できるよう、国の奨学金事業の動向を見ながら本学の奨学金・奨励金制度を検証し、経済支援制度を充実させることで、学生満足度の高い対応力が評価される組織になる。

カウンセリングセンター

- (1) 心理学の専門性を基盤として、大学の構成員と関係者、そして地域や社会の人々に向けた教育・支援活動を積極的に展開し、「多様性」という新時代の価値の実現に貢献するセンターになる。
- (2) 多様な学生が安心して学び、個性を尊重され、個の力を最大限に発揮して社会の中で自己実現できるようになるための個別・少人数教育と心の支援を、より一層推進するセンターになる。
- (3) KONAN クオリティを支える一角となるため、さまざまな世代の卒業生や修了生が心理的支援を必要としたときに、いつでも利用できるセンターになる。
- (4) 甲南教育プログラムを支えるため、公認心理師養成カリキュラムにおける実習・演習科目に協力するセンターになる。

キャリアセンター

- (1) 体系的なキャリア教育と就職支援機能の強化を行い、就職に強い大学としての社会的評価を確立する。
- (2) ミディウムサイズ総合大学だからできる学生一人ひとりに応じた満足度の高い「顔がわかる”キャリア支援」を追求する。
- (3) 企業や地方公共団体と連携してキャリア支援を行い、交流の場を展開することで、社会との接点を広げ、地域や社会の発展に貢献するセンターになる。

図書館

- (1) 学習・教育・研究環境の変化に対応しながら本学の学術情報基盤としての機能を強化し、多様な利用者に対応できる諸環境整備を進め、利用者の知的活動をつなげる「マルチステージ型図書館」になる。
- (2) 学生が主体的に参画する企画を展開し、知見を豊かにする読書習慣を涵養するとともに、情報リテラシー教育を推進し、学生にとってより「身近な図書館」になる。
- (3) 本学における教育・研究成果や貴重資料等の公開を促進し、学術研究の発展に寄与し、大学と社会との知的融合を促進、「『研究力の甲南』のバックボーンたる図書館」になる。

アドミッションセンター

- (1) 関西の私立大学における本学独自のポジションと、本学の教育・研究におけるクオリティの高さを発信し、本学が受験生から選ばれ続けることを推進するセンターになる。
- (2) 学生募集広報や高大接続活動を通じて学生の多様性を高め、多彩な学生が集まるより魅力的な人物教育率先の場を創出することに貢献できるセンターになる。
- (3) 本学の教育研究と高校教育との接続を促進することを通じ、本学の研究力・教育力の向上に貢献するセンターになる。

フロンティア研究推進機構

- (1) 世界に通じる特色ある研究力のさらなる向上をサポートし「研究力の甲南」としての不動の地位の確立に貢献する。
- (2) 甲南大学の持つ研究力を可視化し、その研究成果を社会へ還元するファシリテーターとしての機能を有する機構になる。
- (3) 「甲南大学知的財産戦略」に基づき、産官学連携や特許など知的財産の創出・管理・活用を進め、学術研究成果の社会への還元ならびに本学の学術研究のさらなる発展へつなげる。

総合研究所

- (1) 「つなげる力・つながる力」を生かして絶えず革新を重ね、時代の変化のなかでも強靱かつしなやかに進化し続ける質の高い研究所になる。
- (2) 甲南大学の持つ研究力の可視化の一環として、研究成果の発信を強化する。
- (3) 伝統や成果を継承しつつ、新たな時代に対応した研究所として運営体制を再構築する。

先端生命工学研究所

- (1) 基礎学術研究（生命を知る研究）から得られる研究成果に基づいた新技術への研究展開（生命を活かす研究）を推進し、「核酸化学はKONAN FIBER」という研究ブランドを確立する。
- (2) 欧米やアジアの複数の大学、研究所との間で、国際的かつ分野融合的な「多国籍研究活動」を展開し、「国際学術交易拠点としてのKONAN FIBER」の国際的プレゼンスを向上させる。
- (3) 国内の主要大学・主要研究機関との学術連携から得られる最先端の科学・技術に関する成果を社会連携活動に反映させ、社会一般に広く「KONAN FIBER発のサイエンス」を浸透させる。

人間科学研究所

- (1) 心理学実践・研究と人文・社会諸科学の協働という共同研究体制をさらに充実させ、関連領域に関する情報を整理集積して常に広く公開し、研究者や実践家をはじめとする専門家の情報ネットワークの拠点になる。
- (2) 心理学を中心とした人文・社会諸科学の協働により、予測不可能な時代を読み解き、危機を生き延びるための教育・研究の連携拠点になる。
- (3) 「子ども・子育て」「次世代育成」を主軸とした研究・教育の拠点として、研究者の連携、地域連携、世代間交流を促進し、地域とともに発展していることで知られる研究所になる。
- (4) 人間科学に関する特色ある高度な研究成果を学生教育に反映させることで、「正志く、強く、朗らかに」生き抜く人物の教育に貢献する研究所になる。

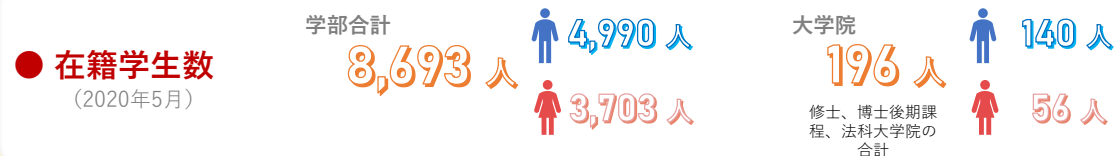
ビジネス・イノベーション研究所

- (1) 本学における社会科学に関する唯一の研究所として、研究資源や知見等を積極的に地域社会に還元し、地域社会の活性化に寄与する研究所になる。
- (2) グローバルに研究活動を展開し、世界に貢献できるビジネス研究を提供する研究所になる。
- (3) 産業界との連携を進め、産学連携研究のプラットフォーマーになる。



数字で見る 甲南大学

甲南大学の中身



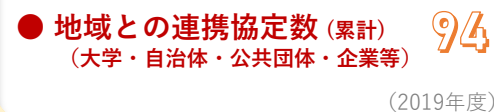
▶ 教育



▶ 研究



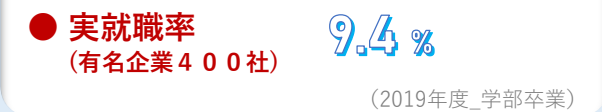
▶ 地域貢献



甲南大学の入口



甲南大学の出口





見つかる、きみのなかの
無限大。
KONAN IN KOBE

甲南大学

[岡本キャンパス]

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

TEL. (078)431-4341

[西宮キャンパス]

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町8-33

TEL. (0798)63-5741

[ポートアイランドキャンパス]

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-20

TEL. (078)303-1457

お問い合わせ

甲南大学 学長室

(078)435-2889

o-president@adm.konan-u.ac.jp